

地域貢献活動

認知症お買い物セーフティネット

高齢化社会が進みつつある中で、ユニーでは認知症の方にも安心してお買い物を楽しんでいただけるようサポートに努めています。従業員には認知症への理解と見守りの役割を担うための教育を行い、店内での困りごと対応やお手伝いで支援しています。また一般のお客様にもご理解・協力をいただくために店内で認知症支援のボランティアや市の職員、支援している大学と一緒にお買い物サポート啓発イベントを開催しています。

キャラバン・メイト講座（講師の資格を取得）

ユニーでは店長が従業員に対して認知症サポーター教育を実施するために認知症キャラバン・メイト講座を行い、認知症に対してさらに理解を深めました。今回83名のキャラバン・メイトを養成し、店舗の認知症サポーター養成を図ります。

お買い物セーフティネット店舗

「お買い物セーフティネット店舗」では、認知症の方と家族が安全で安心してお買い物を楽しんでいただくために、店長はじめ従業員がサポーター教育を受け、「お手伝いします」という印に「オレンジ サポーターバッジ」を胸に付けてお迎えしています。また、お客様にもご理解いただき、さらに自治体と一緒に認知症の方を支援する体制を整えています。



アビタ桑名店での従業員サポーター教育



店舗での認知症啓発イベント



店長会議での認知症サポーター教育



店長・スタッフのキャラバン・メイト研修



認知症
お買い物セーフティ
ネットマーク

店舗での教育担当者

- 店長（キャラバン・メイト）
- 自治体担当者（キャラバン・メイト）
- 協力NPO（HEART TO HEART）



店舗での認知症サポーター教育



お客様への啓発活動

教育

店 舗

- 店舗従業員
- グループ会社従業員



認知症お買い物セーフティネット店舗

連携

自 治 体

- 市役所
- 包括支援センター
- 社会福祉協議会

認知症のお買い物サポートを支援

今や65歳以上の15%が認知症という時代になってきており、これまで元気だったお客様が年を重ねることで、認知症を発症される方も年々増えていくことでしょう。認知症になっても少しのサポートでお買い物を楽しむことができます。認知症についての勉強会や啓発イベントを通して、認知症への理解を深め、ユニーの皆様とご一緒に、認知症になっても安心してお買い物を楽しめる地域づくりに貢献できたらと思います。



NPO HEART TO HEART
代表 尾之内 直美さん

認知症のお客様への店舗の取り組み

桑名店では6つの地域包括支援センターとの連携活動を行っており、従業員向けの認知症講習会や一部管理職向けの高齢者ケアの勉強会を毎月実施するようになりました。従業員にとっても地域生活者として避けて通れない問題であり、営業時間中に講習時間を設け、積極的に支援センターのメンバーとのコミュニケーションの場をつくっています。すでに直営店ではほとんどの従業員が「認知症講習会」を受けており、現在派遣会社や地元シルバー人材センターのメンバー、アルバイトに至るまで学習してもらい、高齢のお客様をサポートしています。



アビタ桑名店
店長 鳥本 寛

ネットスーパー

店舗に行かなくても買い物ができる「ネットスーパー」は、高齢者など買い物が困難なお客様や時間がないお客様の強い味方です。お客様の地球環境に対する関心の高まりに応え、商品梱包時のレジ袋をエコバッグに順次切り替えて、店舗を拡大していきます。

またお客様の使用済み容器包装を商品納品の時に回収するなどリサイクルも推進しており、お客様に便利で環境にも配慮した取り組みを進めています。

サービス介助士の養成

ユニーでは2007年からサービス介助士の資格取得を進めています。高齢化社会が進み、高齢者や障がいをお持ちの方にも安心してお買い物をしていただくために、サービスレベルの向上を目指し、店長、副店長から資格の取得を進めてきました。現在サービス介助士の資格取得者人数は1,400名以上です。今後も高齢者や障がいをお持ちのお客様のお買い物サポートに取り組んでいきます。



ネットスーパーの紹介



商品を配達するときは
エコバッグを使用



使用済み容器包装を
リサイクル



車椅子の介助訓練



高齢者体験